

グローバルシナジー・プロジェクト
明治大学主催 日タイ交流学習プログラム
「日タイ比較から考える SNS と現代社会のあり方」募集要項

1 目的

海外拠点、オンライン及び実留学の効果的な組み合わせモデルの構築を目指すグローバルシナジー・プロジェクトの取組みとして、日タイ交流学習プログラムを実施する。

2 学習テーマについて

「日タイ比較から考える SNS と現代社会のあり方」について学習する。現代社会において情報通信技術(以下 ICT)は生活に欠かせないものとなり、特に SNS は多くの人々が毎日利用している。しかし、SNS は場所や時間を選ばずに情報を得たり、コミュニケーションを取れる利点がある一方で、犯罪に巻き込まれたり、誹謗中傷を他者から受けるリスクもある。本プログラムを通して、より安心して SNS を利用できる現代社会の実現に向けて、自分の身の回りの SNS の活用だけではなく、1) ビジネスの世界ではどのように SNS が活用されているのか、2) 外国の学生はどのように SNS を使っているのかを学習する。

3 学習の目標、学生に期待する学習成果

(1) 学習目標

日本及びタイの異なる文化背景のもと、ディスカッションやグループワークを英語で実施し、本プログラムで扱うテーマについて知識を深めること。

(2) 学生に期待する学習成果

本プログラムで扱うテーマについて、グローバルな視点で日本、タイの社会文化の違いについて理解し、今後の学習・研究およびキャリア形成につなげていけること。

※プログラム前後での学生の国際意識についても確認するため、国際志向性(International Posture)についての質問紙を利用して、そのスコアの違いについても確認します。

※十分な出席率と、上記に項目の学習目標達成を評価しプログラム修了者には修了証(Certificate)を発行します。

4 使用言語

英語

語学要件: 例として IELTS 4.0、TOEIC L&R 550、TOEFL iBT 42、CU-TEP35 以上。

5 参加学生人数

日本（立教大学、関西大学、明治大学）、タイの大学に所属する学部生それぞれ30名程度 合計60名

※各大学の人数バランスは、実際の応募者数を見て決定します。

※応募人数によっては選考を行うことがあります。

6 開催方法

Zoomによるオンライン開催。

※一部明治大学での対面参加を可とする日、オンデマンド参加の日があるので、7をご参照ください。

7 スケジュール

日程	内容	実施媒体	備考
1. 2/4 13:00- 14:40 in JST 11:00- 12:40 in TST	Introduction & Intercultural Exchange <ul style="list-style-type: none"> ➤ プログラム全体の詳細の説明 ➤ タイと日本の学生全体で自己紹介やアイスブレイクの活動を行う。 ➤ タイ語やタイの文化に関する簡単なレクチャー及び活動を行う。 	Zoom	
3. 2/5 13:00- 14:40 in JST 11:00- 12:40 in TST	Discussion <ul style="list-style-type: none"> ➤ 普段の生活の中で SNS をどのように活用しているのか、タイと日本で比較をする。 ➤ SNS のコミュニケーションの中で使う、ステッカー・スタンプの役割について考える。 ➤ SNS におけるプライバシーの問題や誹謗中傷等の社会問題について考える。 	Zoom	社会問題に関しては、事前に英語のニュースや記事などを提示し、それを読んでもらうようにする。
4 2/11 13:00- 14:40 in JST 11:00- 12:40 in TST	Presentation preparation <ul style="list-style-type: none"> ➤ プレゼンテーションのテーマ、形式に関して説明をする。 ➤ グループ及びグループリーダーの発表 ➤ グループでプレゼン作成の計画を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ プレゼンのテーマ 1) 効果的な SNS の活用方法（個人レベル、企業レベルともに面白いタイの事例、面白い日本の事例、意外な活用方法の事例など） 2) SNS による社会問題とその対策（タイ 	Zoom	プレゼンテーションの提出締め切り 2/16 正午 (JST) ↓ 2/16 午後に動画をポータルサイトへアップロード

	<p>の事例（補足：タイの場合、SNS 誹謗中傷や名誉毀損、デマを防ぐために通称コンピューター法がある）、日本の事例など。）</p> <p>3) SNS と若者（タイと日本を比較して、どういうふうに SNS を使うか、類似点・相違点、メリット、デメリット、SNS 依存度、その他影響などを考える）</p>		
<p>5. 2/12 13:00 - 16:30 in JST</p> <p>11:00- 14:30 in TST</p>	<p>Guest speaker special lectures</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 日本、タイの企業の人から SNS をどのように利用してビジネスを行なっているのかを話してもらう。 ➢ レクチャーの内容を踏まえてグループプレゼンテーションのテーマを決める。 <p><u>当日の予定については「9 ゲストスピーカーレクチャーの実施方法及びスケジュールについて」を参照のこと</u></p>	Zoom or 対面	<p>ゲストスピーカーのレクチャーの日程は9を参照のこと。</p> <p><u>明治大学、アセアンセンターに来ることのできる学生については対面で実施する。オンラインでも参加は可能とする。</u></p>
<p>6. 2/17、 2/18</p>	<p>Individual study time</p> <p>他のグループの動画を視聴しそれぞれコメントをする。</p>	オンデマンド	<p>フィードバックはポータルサイトを通じて回収する。</p> <p>↓</p> <p>回収したコメントはグループごとにまとめグループリーダーに送る。</p> <p>↓</p> <p>グループリーダーを通じて、グループ全体に共有してもらう。</p>
<p>7. 2/19</p> <p>13:00- 14:40 in JST</p> <p>11:00- 12:40 in TST</p>	<p>Wrap up</p> <p>今回のプログラム全体を通して学んだことの振り返りを行う。</p>	Zoom	Wrap up は Zoom で行う。

8 Kick-off Gathering

日本、タイそれぞれに関して、複数の大学の学生が集まることになるため、まずはプログラム開始前に各国で、母語で交流をするための Kick-off Gathering を実施する。1)プログラムの説明、2)アイスブレイク活動を行う。

日程：日本では1/31（月） 17:30 - 19:00 より Zoom で実施。

9 ゲストスピーカーレクチャーの実施方法及びスケジュールについて

時間	内容	備考
13:00 - 13:10 in JST 11:00 - 11:10 in TST	全体の流れとゲストの紹介	
13:10 - 14:10 in JST 11:10 - 12:10 in TST	ゲストスピーカー 1 (日本側)	明治大学に集合できる学生は対面で実施。 関大及びタイの学生はZoomで視聴する。
14:10 - 14:30 in JST 12:10 - 12:30 in TST	質疑応答	
14:30 - 15:00 in JST 12:30 - 13:00 in TST	休憩	
15:00 - 16:00 in JST 13:00 - 14:00 in TST	ゲストスピーカー 2 (タイ側)	アセアンセンターに集合できる学生は対面で実施。 日本にいる学生は Zoom で視聴する。
16:00- 16:20 in JST 14:00- 14:20 in TST	質疑応答	
16:20- 16:30 in JST 14:20- 14:30 in TST	まとめ	

10 問い合わせ先

明治大学国際連携事務室

メールアドレス ico@mics.meiji.ac.jp

※多数のメールが届くため、本プログラムへの問い合わせと識別できるよう、「グローバルシナジー・プロジェクト国際交流プログラムについて」等、タイトルを記し、メール文面に大学名、学部、学年、氏名をご記載ください。

以 上